

もくじ

- 平成27年度地域医療連携のまとめ ①
- 診療科紹介 心臓血管外科 ②
- 部署紹介 リハビリテーション科 ③
- 第6回東播磨皮膚・創傷ケア研究会 ④

平成27年度 地域医療連携のまとめ

地域医療連携担当部長 兼 診療部皮膚科部長 足立 厚子

当院が旧県立加古川病院からH21年11月に神野の地に新築移転してから、地域の皆様のご協力の御陰様で6年が経過しました。最近の外來、入院、救急患者様の全体像をまとめさせていただきました。

1) 紹介患者および入院患者の地域別分布

図1はH27年度初診紹介患者様地域別内訳です。加古川市、加古郡、高砂市で80%を占めます。この地域の医療機関の先生方から多く御紹介を頂いていることが分かります。殆どの診療科で紹介患者数は年々増加しており、整形外科、消化器内科、皮膚科、乳腺外科、泌尿器科、総合内科が特に多いです。ただ、新病院移転後に新設ないしリニューアルされた脳外科や循環器内科などではまだまだ受け入れが可能ということを、アピールをさせていただきます。どうぞよろしくおねがいします。

図2は平成27年度入院患者様居住地域別内訳です。加古川市、加古郡、高砂市を合わせて77%となり、残り4分の1はこの2市2町以外です。

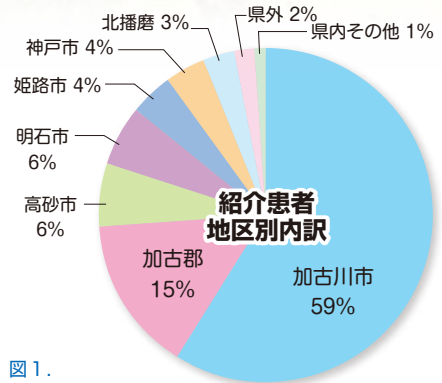


図1. H27年度地域別紹介患者 (H27年4月～H28年1月)

2) 入院患者の転帰について

平成27年では全入院患者様の82.8%が自宅退院、0.90%が施設への退院、転院は10.1%でした。図3は入院患者様の転院先の地域別グラフです。加古川市 加古郡 高砂市を合わせても半数未満で、残り半数はこの地域以外に転院されていることがわかります。明石市や北播磨地区の病院に転院されている患者様が多い傾向にあります。

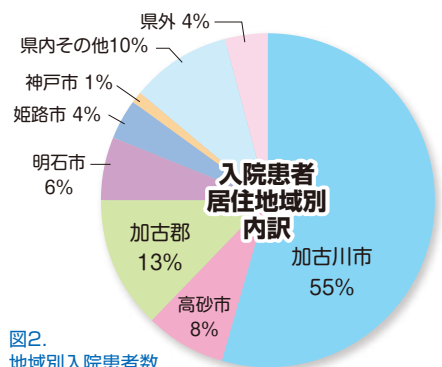


図2. 地域別入院患者数 (H27年4月～H28年1月)

3) 救急患者様の受け入れについて

2013年11月末から当院は兵庫県ドクターヘリの基地となり、より広い地域から重症患者を受け入れ可能となりました。表1に救急患者数推移を示します。原因別では、事故よりも疾病の割合が増加しています。ドクターヘリでの搬送が急増していますが、近隣地域からの救急車による搬送も多いです。地域の皆様が安心して毎日を過ごすことができるような体制作り、今後も積極的に参加していきたいと考えています。

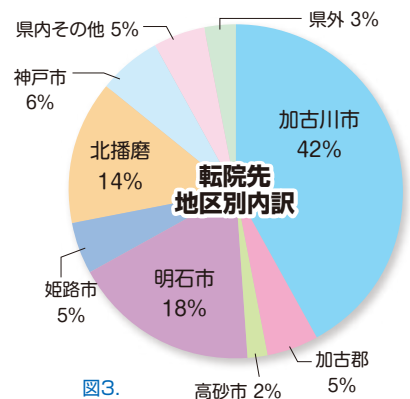


図3.

表1 救急医療の実績 (人)

	患者数	原因別			搬送経路別		
		交通事故	疾病	その他	救急車	ヘリ	その他
平成25年度	6008	314	5630	64	1739	91	4178
平成26年度	6417	398	5983	36	1702	414	4301
平成27年4～12月末	5129	292	4766	71	1260	316	3553
平成27年度見込み	6838	389	6354	95	1680	421	4737